

福生三中だより

令和5年4月28日発行 No.2
福生市立福生第三中学校

学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼節

「自分の将来に夢をもち、自立して卒業できる生徒の育成」



校長 植村 多岐

新年度が始まって1か月。新しい仲間と共に過ごし、また、新しい先生方と話し、各教科の学習も進み、令和5年を充実させるための順調なスタートを切ることができました。新年度のスタートにあたり、先日の保護者会でお伝えしました「目指す学校像」の一部をご紹介します。

～目指す学校像～

(1) 誰もが安心して過ごせる学校

具体的には人権を第一とする学校です。集団生活では「いじめ」の問題が話題になることがよくあります。本校の人権教育は、「自分が大切であるように他の人も大切にする精神の育成」を基本としています。そのためには、まず、「自分を大切に思えなければ、他の人も大切にできない」そんな視点から、自分を大切にでき、自分の良さに気付き、自尊感情の育成と人権教育の推進により、「誰もが安心して過ごせる学校」の実現を図ります。

(2) 確かな学力を身に付ける学校

夢や希望の実現のためには、確かな学力が下支えとなります。そのために、「学ぶ楽しさを感じられる授業」・「主体的・対話的で深い学び」を目指した教員の授業改善への努力と生徒の主体的な学習姿勢及び家庭学習の習慣を重要と捉えています。家庭学習の習慣においては、家庭環境も重要になってきます。家庭での意識付けもお願いいたします。

(3) 生き生きと自己実現できる学校

学校は、多くの人と関わる教育上のメリット(強み)があり、共に生きて行くという「共生」も重要視します。そういった点で音楽会と体育大会を2大行事と位置付け、この2大行事も含めて、本校の全ての教育活動を通して、生徒が他者から「認められる体験・感謝される体験」をより意識して行わせることで、生徒が自分の良さに気付き、自信をもち、その自信を様々な活動の意欲につなげ、各自の自己実現につなげます。

(4) 生活習慣の基盤を身に付ける学校

本校は校訓に「礼節」をかかげています。その内容は「礼儀と節度」です。相手を思いやり相手の立場を考慮した節度ある礼儀が重要と捉えます。社会的な自立を促すことから、全校で「礼節」を大切に取組んでいきます。

この4つの柱の上に、中学校が義務教育9年間における最終段階という認識に立ち、「自分の将来に夢をもち、自立して卒業できる生徒の育成」を本校の教育方針の柱と考え取組んで参ります。創立50年の伝統ある福生第三中学校を、さらに魅力あふれる学校となるよう、教職員一同努力していきたく思います。よろしく願いいたします。

委員会・部活動紹介 4月11日(火)

1年生に向けて2・3年生が委員会・部活動紹介を行いました。各委員会・部活動の活動内容の説明や工夫に富んだ紹介をしました。1年生は真剣に説明を聞いていました。



セーフティ教室 4月13日(木)

KDDI 株式会社の林田 真一 先生を講師に迎え、スマートフォンでSNS等を利用するときのルールの必要性、犯罪に巻き込まれないための注意やスマートフォン依存の怖さについて、丁寧に説明してくださいました。動画視聴・意見交換・発表を行い、生徒は、正しい理解で賢く使いこなす方法を勉強しました。



地区班会議 4月21日(金)

所属する地区班と解散場所の確認と、地区班長を決定し、班員を確認しました。地区班名は以下の通りです。

地区班名	中体	金堀	熊牛会館	三中前	明神下①	明神下②	真福寺①	真福寺②
------	----	----	------	-----	------	------	------	------

※明神下公園と真福寺は、生徒数が多いため2班に分けています。



オーケストラ鑑賞教室 4月21日(金)

福生市民会館大ホールにおいて、オーケストラ鑑賞教室が行われました。演奏はパシフィックフィルハーモニア東京、指揮米田 覚士さんによる、迫力ある演奏に3年生は魅了されました。アンコールの、ラデツキー行進曲(ヨハン・シュトラウス)では、皆で手拍子をして盛り上がりました。

【曲目】勝利の行進(フェルディ)、交響曲第5番運命第一楽章(ベートーヴェン)、楽器紹介、トリッチ・トラッチポルカ(シュトラウス)、八木節(外山雄三)、モルダウ(スメタナ)、ラデツキー行進曲(ヨハン・シュトラウス)